

令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立四箇郷小学校
提出締切	令和5年3月10日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	豊かな心	確かな学力	健やかな体と安全の確保
指標	学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」において、『思う方』の回答が75%を超える。	・図書室への総入室者数→前年度を維持 ・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。	県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。	学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」において『思う方』の回答が85%を超える。
重点目標に対する	・朝の挨拶運動の回数を増やす。 ・裁縫実習の補助を継続する。 ・地域との交流を具体的にどう進めていくのか検討する。 ・学校だよりでは予定や活動の様子が詳しく伝えられている。 ・教育目標に迫る学習が普段にも見受けられた。 ・「学校が楽しい」が全児童の96%を占めている。 ・地域との交流を積極的に進める方針がうれしい。 ・地域の方々との交流は、そろそろ元に戻していくべきかと思えます。	・毎朝15分間の読書を全児童が行う。 ・図書室を整備し、読書に親しめるよう明るい環境が整えられている。 ・国語を中心に研究を進めており、若い先生たちが切磋琢磨し、より良い学習づくりに取り組んでいる。 ・国語教材に準ずる書籍を廊下に並べ、豊かな学校生活を過ごせるよう、本を増やしている。 ・子供達から、「私、学校の図書室大好き」という声を聞きました。もっと子供達には本に触れて欲しい。	・基礎学力の向上を強化する。 ・学力テストでは県平均よりも下回るところもあるが、学校では基礎学力の向上を目指し、5限が始まる前の15分間を国語・算数を中心としたプリント学習に取り組んでいる。教師は巡回しながら一人一人の個に応じた支援指導を継続させている。 ・県平均を上回る結果は先生方のたゆまぬ努力の賜物です。 ・みんなで力を合わせて何かを作り上げる機会を大切にあげて欲しい。	・安全確保のため防犯カメラを増やしてもらいたい。 ・体力の向上を目指すため、具体的に何に取り組んだのか。 ・重要なことは、まず、「自分の命は自分で守る」ということで、安全教育の軸となる。普段から事故に遭わないよう行動し、災害時は自ら正しく判断して避難することが大切である。子供たちの安全を守る地域の方々への支援も大きい。 ・コロナ禍による体力低下が気になります。
取組状況に対する	・アンケート結果は概ね高評価であった。学校と育生会との連携が反映されている。一方で「わからない」と回答する割合も多く、関心を引き付けられるよう更なる情報発信が必要と思われる。 ・子供たちと触れ合え、作品ができて喜んでる姿を見てよかった。 ・年に何回か、地域の方々と一緒に給食を食べる機会があってもよい。 ・育生会との連携による様々な行事など、地域があってこそこの四箇郷小学校である。 ・学校だよりを回覧板で回す。	・社会見学や校外学習など、子供たちにとっての豊かな体験を重視してほしい。 ・地域の方々との協力を得て、ボランティア活動を行う。桜並木の草取りや通学路の清掃など。 ・国語の学習で、子供の実態に応じて単元を組み立て、登場人物の心情を本文から読み取る活動を重視している。自分の思いや考えを書かせ、互いに発表し合うことで考えを深めようと努めている。 ・合宿や遠足など、特に子供達の心を豊かに成長させることができる。 ・子供と保護者がともに参加できる行事増やしたい。	・放課後フォローアップ事業は今後も継続してほしい。回数を増やす手立てとして、指導者に保護者や地域の人材を積極的に活用していく。 ・2年連続で研究会を実施したことで、教員の向上心につながり、結果、子供たちも学ぶことが楽しくなっている。自分を高評価できることは素晴らしい。 ・教室には学習の足跡がわかるよう、掲示物に力を入れている。学習ではそれを話し合いに生かし、発表力・表現力もついできている。 ・これからも話し合い活動を重視した授業改善に努めていってください。	・熱中症対策は保護者の安心につながった。目に見える取組を実施し、理解を深めていくことが必要。 ・リュックでの登校を夏季に限らず年間にしてみてはどうか。 ・朝は集団登校を実施し、一列になって登校できている。地域の方々に見守られながらルールを守って下校もできている。雨の日も風の日も毎日、通学路の要所に立って、子供たちを見守ってくださる方々に心から敬意いたします。 ・ミストシャワーを子供達は大変喜んでいました。
取る組の適切さの検証結果に対する	・ホームページの充実を図り、より積極的に情報発信を行う。 ・ミンシンの新規購入、メーカーの統一、少人数化により、子供たちも落ち着いて作業でき、きめ細かく支援もできた。 ・校長の得手不得手があるが、「学校だより」や「四箇郷新聞」など紙ベースでも情報発信を行っていくとともに、ぐるりんメールの便利さを今後も伝えていく。 ・学校に来にくい子や遅刻がちの子など様々であるが、一人一人に合わせ学校での居場所づくりに取り組んでいる。 ・地域にも学校からのメールが届くのがいい。 ・親子清掃はこれからも継続してほしい。	・人間形成には道徳が必要、家庭でどのように取り組むか学校から助言してほしい。 ・図書室への来場者総数をカウントする方法はないか。 ・アンケート結果から、情報モラルへの関心が高まってきたと感じる。 ・国語力がついてくると他を思いやる心も育ってくる。大雪の日に小さい子が滑らないようにと、凍っている坂道をスコップで削り取るようにしている子がいた。心が育っている表れに思う。 ・保護者も情報モラルのことに関心があり、色々な情報が欲しいと感じている。	・基礎学力向上のため、校内で統一することを今後も継続してほしい。 ・基礎学力を定着させつつ、いかにして発展学習にも取り組み、伸ばしていくか。 ・自ら課題を見出し、考え、判断し、解決していけるかは教師自身が体感し学ばないと難しいと思われる。 ・高学年算数は「ゆっくりコース」と「ぐんぐんコース」に分け、子供に選択させ、学習意欲の向上につなげている。他教科でも学習意欲の向上を目指してもらいたい。 ・算数の少人数学習で、子供達の苦手意識が減り、結果にも表れていると感じた。	・感染症対策は今後も継続してほしい。 ・地震や火災による避難訓練は今後も継続していきつつ、集中豪雨による対策として、危険個所の把握と改善にも取り組んでいくべき。また、危険個所については保護者、子供たち、地域、関係機関とも情報を共有すべきである。 ・3年間の制限による子供たちへの負担は大きかった。心身のケアは大切であると考える。 ・この3年間、先生方もすごく気を遣っていたが、感染拡大防止に努めて頂きありがとうございました。
改善年度法に向ける意見	・授業参観の機会を増やしてほしい。 ・裁縫では作業工程をさらに細かく分けるとスムーズに進むと思えます。 ・保護者の知りたい情報を学校だよりで発信する。また、回覧でも配布し地域の方々にも情報発信し、連携につなげていく。 ・見守り隊の方との会合を年に数回持つようにし、情報共有できるようにする。 ・「学校だより」で学校の取組や元気で明るい子供たちの様子を広く伝えてほしい。 ・校区の見守り隊の方々や低学年の子供達と一緒に食べたり、体育館で遊んだりする機会を設けて欲しい。 ・来年度は夏祭りを行いたいと思う。	・土曜、日曜で他に学校で行えるような行事を模索してほしい。 ・道徳の学習で公共の施設におけるマナーについて学習を深めてほしい。 ・希薄になりつつある人と人とのつながりについても学習を深めてほしい。 ・学校司書の配置を行政に求めていく。 ・子供に読書量を把握させることで関心や自信をつけさせてほしい。 ・絵本の読み聞かせの機会を増やす。 ・朝、挨拶のできない児童が増えてきているように感じる。見守り隊の方にとって寂しいものだ。 ・道徳の学習は大切なので、今後も計画的に行っていたきたい。	・放課後学習の機会を増やす。 ・大学生のお手伝いを継続できるようにする。 ・学生ボランティアの活用を継続していくことで両者にとって利となり、即戦力となる教員の育成にもつながる。 ・教科等別研修会での研究発表会は大変有意義であったと考える。教員の向上意欲もよく見受けられた。低学力の子供への支援や指導について、今以上に工夫し、学習意欲の向上に努めてほしい。 ・先生方の意欲、努力に感謝しています。 ・放課後フォローアップの回数を増やしていただくと有難い。	・運動会の後、子供たちと担任が涙を流して感動している姿が見られた。健やかな心と体が育っていると感じた。子供たちが精一杯創り出す温もりのある学校生活を今後も継続させてほしいと願う。 ・集中豪雨時の行動や危険個所について教員も子供たちと情報共有し把握しておくべきと考える。 ・登下校時の安全のため、教員やボランティアを募り、見守りの機会を増やす。 ・マスクを外し、思い切り体を動かして体力をつけてほしい。

3 その他のご意見

- ・異年齢による縦のつながりを充実させることは、子供たちが将来社会に出たときに役に立つ大事なことだと思います。
- ・シカゴテラスでの子供たちのモラルや振る舞いが気になります。改善する良い手立てはないものではないでしょうか。
- ・感染症や熱中症への対策はこれからも気を緩めず実施して欲しい。
- ・学習発表会を行うことにより、児童への効果に加え、保護者の学校への見方や理解度が変わってくるため、コロナ前の状態に戻していくべき。